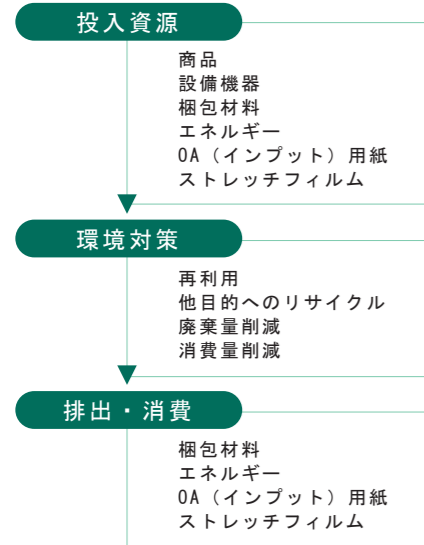


物流部門の環境保全

コーセーグループの物流段階における環境保全対策は、2008年度も引き続き物流の効率化、資源や副資材の節約と再利用、リサイクルの促進をテーマとして活動を展開してきました。使用済みのOA用紙やダンボールの再利用に加えて、ストレッチフィルムの再資源化にも取り組んでいます。

物流における環境対策の流れ



コーセーの流通センター網

物流の効率化と販売面でのサービス向上をはかるために、全国で6カ所の流通センターが稼動していますが、すべての事業所で環境保全活動を実施しています。中心となる狭山流通センターは2003年11月にISO14001の認証を取得して以来、6つの流通センターで継続して環境改善運動に取り組んでいます。

北海道流通センター（北海道恵庭市）

東北流通センター（福島県須賀川市）

狭山流通センター（埼玉県狭山市）

名神流通センター（滋賀県湖南市）

中四国流通センター（岡山県笠岡市）

九州流通センター（福岡県古賀市）

流通センターでの活動内容

1. リデュース（発生の抑制）

■産業廃棄物の低減活動

お客様に直結する販売部門等に対して、商品や宣伝物品の在庫情報をきめ細かくフィードバックできる体制を確立し、過剰生産の防止や物品の利用促進をはかることによって、廃棄物量を少なくする努力を続けています。

■エアコン温度のコントロール

生産施設のエリアごとに温度計を設置するとともに、定期的に室内温度を計測して暖房や冷房の温度設定値を常にコントロールしています。

■待機車両のエンジン停止

配送業者の協力によりセンター内でのエンジン停止を励行。狭山流通センターでは埼玉県条例のアイドリングストップを遵守するため、ドライバーの休憩所や喫煙所を設置しています。

■輸送方法の改善

環境保護の観点から鉄道コンテナ輸送も積極的に利用しています。12ftコンテナに加えて31ftウイングコンテナも活用して、輸送効率と積み下ろし作業の効率をアップさせました。

■コピー用紙、OA用紙の削減

不要コピー紙ボックスを各所に設置し、社内連絡用に使用する書類は裏面利用の両面コピーを励行しています。

2. リサイクル（再資源化）

■紙類やストレッチフィルムの再生
両面コピー後に不要となった書類、上質紙、新聞紙等は分別してリサイクル業者へ引き渡しています。また2008年度から、荷くずれ防止のために使わ

れるストレッチフィルムについても仕分けしてリサイクル業者に引き渡すようにしました。

■産業廃棄物のリサイクル

産業廃棄物の単なる焼却処分を廃止し、焼却熱を熱機関運転に活用したり、焼却灰を路盤材にするなどして100%リサイクルを達成しています。

3. リユース（再利用）

■ダンボールの再利用

物流のために使われたダンボールは、固定用のガムテープや宛名シール等をはがして再利用を徹底しています。

■廃棄ダンボール等の緩衝材への利用

再利用を何度か行なった後で使えなくなったダンボールは、加工して輸送用の緩衝材等に。廃ダンボールを加工するエコネット機を導入しています。

■輸送用小箱の再利用

コーセーでは小型サイズの商品を生産する場合、完成品を入れるために通常のダンボール箱サイズの1/4や1/8という上蓋無しの小箱を使っていますが、各流通センター間では、この小箱のままダンボール箱に入れて輸送しています。また、小箱を折りたたんで回収できるようにワンタッチ組み立て式のものに改良し、繰り返し利用しています。このため、再利用率と運搬効率がアップしました。

オフィス部門でのエコ活動

コーセーでは各事業所のオフィスでも環境活動に取り組んでいます。事務用品のグリーン購入の推進、事務機器の省電力製品への切り替え、分別ボックスの設置による分別収集の徹底、休憩時間の消灯による節電、エアコンの温度設定の管理等の活動を実施しています。

オフィスゴミ スリム化宣言で3R運動を実施

コーセーのコーポレートメッセージは「美しい知恵 人へ 地球へ」です。この考えを実践するために、全社員に『オフィスゴミ スリム化』活動への参加を呼びかけています。具体的には、各自の職場でできるエコ活動として、ゴミをできるだけ出さないReduce（リデュース）、両面コピーや封筒の使いまわすなど再使用に心がけるReuse（リユース）、ゴミを分別して廃棄するRecycle（リサイクル）という3R運動を提唱しています。

チーム・マイナス6%への参加

国民参加運動として活動を続けている『チーム・マイナス6%』に、コーセーもその趣旨に賛同し、企業として登録するだけでなく、社員にも参加を呼びかけています。パンフレットや社内報で、この運動について家庭内で話題にしてください、温室効果ガス削減への取り組みをしてください、この運動に賛同したらご家族で登録してください、という3つのお願いをしています。

日本橋オフィスが「日経ニューオフィス賞」を受賞

コーセーの新しい日本橋本社オフィスは2008年8月に新しいビルとなりました。新しいオフィスを創るにあたっては、部門横断型のプロジェクトチームを立ち上げ、環境保全面への配慮とともに、人と人のコミュニケーションや働きやすさという就業環境を重視しました。ライブラリーカフェやミーティングエリア、リフレッシュエリアなどを設け、開放的で気あふれるオフィス空間を創出しました。この本社オフィスは日本経済新聞社と社団法人ニューオフィス推進協議会が主催する第22回日経ニューオフィス賞で「日経ニューオフィス推進賞」を受賞しました。



日本橋オフィスの正面玄関



共同のワークスペース

全社で事務用品のグリーン購入を推進

コーセーの全事業所では、コピー用紙やプリンター用紙など日常業務で使用する紙は全て再生紙に切り替えています。また、取引先企業の協力をいただいて独自の推奨事務用品カタログ『グリーンブック』を作成してグリーン購入の普及に努めています。現在、名刺をはじめボールペン、サインペン、蛍光ペン、鉛筆などの筆記用具からファイル、ノート類、消しゴム、付箋紙、のり、スタンプ台、のし袋などがグリーン購入に切り替え済みです。また、定期的に「グリーン購入ネットワーク」等から最新情報を収集して活動の推進に力を注いでいます。